令和 6 年度 京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻（法科大学院）未修者特別選抜
口述試験（配点：200 点満点）

【出題趣旨】
午前に行われた口述試験では、大庭良介『「型」の再考』（京都大学学術出版会、2021 年）の一部を、午後に行われた口述試験では、三橋順子『歴史の中の多様な「性」：日本とアジア変幻するセクシュアリティ』（岩波書店、2022 年）の一部を、それぞれ資料として提示し、これらを題材にした試問を行うとともに、出願書類に関する質疑も行い、出願者の論理的思考・判断力、理解・分析力及び表現力等を判定した。

【採点基準】
資料の内容を時間内に正確に理解できるか、論理的に物事を考えることができるか、問題を発見しそれを的確に分析する能力を有しているか、質疑への対応が適切にできるか等を踏まえ、総合的な評価を行った。